

令和5年度 第3回 学校運営協議会

1 日 時 令和6年1月17日(水) 15時30分～16時30分

2 場 所 本校GU教室

3 出席者(運営協議会委員)

松宮 新吾(追手門学院大学教授)

河原林 昌樹(弁護士)

三村 泰久(門真市立脇田小学校長)

高山 拓也(門真市教育委員会学校教育課長)

三戸 治歩(本校PTA会長)

増田 広樹(門真市立第二中学校長 欠席)

4 出席者(学校)

校長、教頭、首席、各分掌、各学年

5 議題等(次第順)

【審議事項】

(1) 令和5年度学校経営計画及び学校評価【承認】

(2) 令和6年度学校経営計画及び学校評価

(3) 第2回授業アンケート

【報告事項】

(1) 今年度の教育活動の振り返り

(2) 学校教育活動に係る保護者からの意見について

(3) その他

6 意見・質問事項等(概要)

○令和5年度学校経営計画及び学校評価について

- ・特別な支援が必要な子どもたちの中でも特に中学校が顕著であるが、高校はどうか？
- ・授業を受ける環境について(そもそもの指標の捉え方を変えるべきではないか？質問項目の見直しが必要)

○令和6年度学校経営計画及び学校評価について

- ・相談室についての教員の負担について
- ・明日のなみはやを考える会の内容について(感動体験を作る仕掛け作りが大切)
- ・協議会の議論内容が反映されているのは素晴らしい。
- ・感動体験をする中での従来の整理が必要だと思った。
- ・中学校の部活は休日は地域移行。門真市内の中学校と交流をしたい。
- ・生成AIがある中で、子どもたちにどのような力を持たせたいかが重要になる。多くの経験が世の中に出るうえで大きな原動力となると思う。
- ・年々、運営委員会の中での内容が充実していると思った。

- 「体験」という言葉が非常に印象に残った。子どものキャリア教育の中で大切だと再確認した。小学校のモデルケースとなるような高校になってほしい。
- 現在、オーストラリアのケアンズで日本語がすごく人気です。その中で、教員を対象としたランゲージプログラムを紹介したい。